



2018年度

2018年3月発行

同志社大学大学院 博士課程教育リーディングプログラム
「グローバル・リソース・マネジメント」

履修候補生 募集要項

◆ 「グローバル・リソース・マネジメント」履修候補生 募集日程

2018年度	受付期間	審査結果 発表日	GRM科目の登録手続期間 (GRM履修候補生のみ)
春学期	2018年 4月2日(月)～4月11日(水)	2018年 4月27日(金)	2018年 5月8日(火)～5月9日(水)
秋学期	2018年 9月18日(火)～9月27日(木)	2018年 10月5日(金)	2018年 10月9日(火)～10月10日(水)

◆ 「グローバル・リソース・マネジメント」が求める人材

本プログラムは、グローバル・リソース・マネジメント（GRM）の本質を、天然資源や人的資源・社会関連資本を適切かつ公正に管理・運営することにより、共通リソースとしてインフラストラクチャーを持続可能な発展と人々の安寧と平和のために構築・改善していくことと捉え、文理融合型の教育プログラムの提供を通じて、自然科学分野における最適化問題を社会科学的側面も含めて鳥瞰し、国家資源・社会インフラが「人間が創出するシステム」であることを理解して現在の困難を解決し、将来に生じうる隘路を事前に察知した対策を講じることのできる人材を養成することを目的とする。そのために、次のような学生を求める。

- ① 災害、紛争、貧困など、生存の危機に瀕する過酷な状況にある人々に寄り添い、共に学ぶことによって困難を打開する志をもった学生。
- ② 論理的思考能力、英語及び研究に必要な言語の資料読解力と発信力を有し、科学技術に対する正しい倫理観をもって、社会に貢献することを望む学生。
- ③ 文理融合の知を基に、「公正」のなんたるかを意識しつつ、宗教間、民族間の共生を志向し、地球的課題としての困難の発生を抑止し、また発生した困難からの復興と発展に取り組むことができる学生。
- ④ 困難から脱して、発展の途上にある新興国において発展の持続性と格差の縮小に取り組むことで、これらの諸国と戦略的パートナーシップを築いていく活動に取り組む意欲を持つ学生。

なお、本プログラムは、博士前期・後期課程を一貫する5年間のプログラムとして、博士前期課程1年次終了時点と2年次終了時点で、それぞれ、Preliminary Examination (PE) と Qualifying Examination (QE) を実施する。

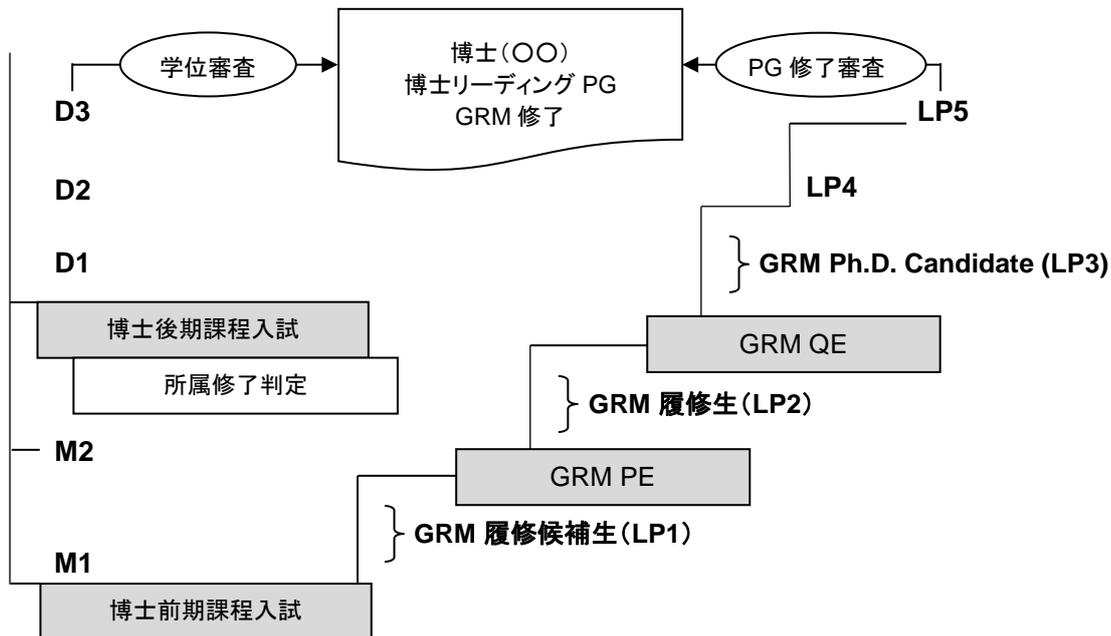
PEにおいては、本プログラムへの志向性を確認するために、志望理由書、博士前期課程における履修状況、筆記試験（論述）、口頭試問、及び研究指導教員からの所見を通じて、本プログラムの履修資格の認定審査を行う。

QEにおいては、本プログラムを継続的に履修する能力、知識が備わり、学位論文作成の準備が備わっているかを確認するため、研究計画書をもとにした口頭試問を実施し、本プログラムの継続履修資格の認定審査を行う。

◆ 「グローバル・リソース・マネジメント」プログラムについて

本プログラムは、良心教育を基礎に据え、本学の教育のグローバル化の成果を活かして、諸研究科を横断する新たな大学院教育を創設するという趣旨から構想された。本プログラムが養成しようとするグローバル・リーダーは、いわゆる「エリート型」リーダーではなく、新興国や最困難国・地域で現地の人々と同じ目線で諸問題の解決にあたることのできる文理融合型グローバル・リーダーであり、創立者新島襄の精神が生き続けている本学独自のプログラムである。

このような人材を育成すべく、基幹研究科・専攻又は連携研究科・専攻（表1）に入学した学生を対象とし、博士前期・後期課程を一貫する5年間の学位プログラムによる大学院教育を提供する。本プログラムの履修を希望する学生は、所属する研究科の定める規程等に従って博士前期課程の教育課程を履修するとともに、本プログラムが開設する独自の科目を履修する。博士前期課程1年次終了時点で、本プログラム履修生としての認定を審査する Preliminary Examination (PE) を受験し、当該試験に合格した者を「GRM履修生」として迎え入れる。GRM履修生に対しては、博士前期課程2年次の所属研究科での博士前期（修士）課程最終試験（試問会等）と同じ時期に、本プログラムの継続履修の可否について、Qualifying Examination (QE) を実施し審査する。



PEでは志望理由書、博士前期課程における授業科目の履修状況、筆記試験（論述）、口頭試問等を総合的に判断し、可否を決定する。PEの実施により、学修した知識を整理して理解する基礎学力及び、本プログラムへの志向性を確認する。

QEでは履修継続理由書または志望理由書及び研究計画書（英語/日本語）を基とする口頭試問を実施する。QEにより基礎学力とともに計画立案能力、計画に基づいて研究・実務を遂行する能力を確認する。QEを通過した履修生は、「G R M Ph.D. Candidate」として博士後期課程に進学し、所属する研究科の定める規程等に従って博士後期課程の教育課程を履修するとともに、継続して本プログラムを履修する。

本プログラムでは、所属の研究科の所定単位を修得した上で、別途、本プログラムの修了に必要な単位（20単位）を履修し、一定の業績を挙げた履修生に対し、プログラム修了認定審査を行う。本プログラムの修了認定審査に合格し、所属研究科における博士学位論文審査に合格した者には、所属研究科の教育課程及び博士課程教育リーディングプログラム（グローバル・リソース・マネジメント）を修了したことを添えた、「博士（所属研究科ごとに定める専門分野）」の学位を授与する。

※ 別途、大学院入学試験（博士課程（後期課程））（表2）を受験し合格する必要がある。

表1：グローバル・リソース・マネジメント参画研究科・専攻（博士前期課程）

基幹研究科・専攻	グローバル・スタディーズ研究科グローバル・スタディーズ専攻、 理工学研究科情報工学専攻、理工学研究科電気電子工学専攻、 理工学研究科機械工学専攻、理工学研究科応用化学専攻、 理工学研究科数理環境科学専攻
連携研究科・専攻	神学研究科神学専攻、文学研究科哲学専攻、 社会学研究科社会福祉学専攻、社会学研究科産業関係学専攻、 法学研究科公法学専攻、経済学研究科理論経済学専攻、 経済学研究科応用経済学専攻、商学研究科商学専攻、 総合政策科学研究科総合政策科学専攻

※ 2011年度以前入学者は、理工学研究科を工学研究科（応用化学専攻は工業化学専攻）と読み替える。

表2：グローバル・リソース・マネジメント参画研究科・専攻（博士後期課程）

基幹研究科・専攻	グローバル・スタディーズ研究科グローバル・スタディーズ専攻、 理工学研究科情報工学専攻、理工学研究科電気電子工学専攻、 理工学研究科機械工学専攻、理工学研究科応用化学専攻、 理工学研究科数理環境科学専攻
連携研究科・専攻	神学研究科神学専攻、文学研究科哲学専攻、 社会学研究科社会福祉学専攻、社会学研究科産業関係学専攻、 法学研究科公法学専攻、経済学研究科経済政策専攻、 商学研究科商学専攻、総合政策科学研究科総合政策科学専攻

2018年度) 履修候補生 募集要項

1. 履修候補生とは

「グローバル・リソース・マネジメント (以下、GRM)」プログラムは、博士前期・後期課程の5年間の一貫プログラムです。博士前期課程1年次終了と2年次(第1 Semester) 終了にあわせ、Preliminary Examination (PE) を実施し、履修生を選抜しますが、GRMに興味を持ち、1年次よりプログラムの履修を強くのぞむ者については、履修候補生となり、履修生に選抜される前からGRMプログラムの履修をはじめることができる制度です。

履修候補生の期間は、下表のとおり、原則として選抜されたSemesterから1年次(第2 Semester) 終了時までとします。1年次終了時のPEに出願しなかった履修候補生は、プログラム履修を継続せず、修了の意思がないとみなします。

1年次終了時のPEに出願し、不合格となった履修候補生は、GRMプログラムの履修の継続を希望し、申請すれば、次のPEが行われるまで履修候補生の期間(1 Semester) の延長を認める場合があります。(詳細:「8. 履修候補生期間の延長」を参照)

履修候補生として認められた期間は、履修上の問題がない限り、1 Semesterに1科目2単位以上、GRM科目の登録・履修をしてください。(詳細:「7. (履修候補生として認められた学生のみ) 科目登録方法」を参照)

なお、修得した単位は自身の専攻の修了単位には含まれません。

履修候補生は、GRM履修生特別奨励金の給付対象とはなりません。

履修候補生としての期間は、以下のとおりです。

所属研究科 入学時期		履修候補生の期間
2017年10月入学生	→	2018年9月まで
2018年 4月入学生	→	2019年3月まで
2018年10月入学生	→	2019年9月まで

2. 出願資格

以下の(1)～(4)の要件をすべて満たす者。

- (1) 出願時点において、下表の本学博士課程(前期課程)の基幹研究科・専攻又は連携研究科・専攻に所属し、第1 Semesterもしくは第2 Semester(休学期間を除く)に在学する者、及び在学する見込みの者。
- (2) GRMプログラムについて深い理解があり、プログラムの履修を強く望む者。
- (3) GRMが履修可能な基幹研究科・専攻又は連携研究科・専攻の博士課程(後期課程)に進学し、博士学位取得とともに、本プログラムを修了することを目指す者。
- (4) 指導教員と研究(学習)計画について相談し、本プログラムへ出願することについての承諾を得られる者。

基幹研究科・専攻	グローバル・スタディーズ研究科グローバル・スタディーズ専攻、理工学研究科情報工学専攻、理工学研究科電気電子工学専攻、理工学研究科機械工学専攻、理工学研究科応用化学専攻、理工学研究科数理環境科学専攻
連携研究科・専攻	神学研究科神学専攻、文学研究科哲学専攻、社会学研究科社会福祉学専攻、社会学研究科産業関係学専攻、法学研究科公法学専攻、経済学研究科理論経済学専攻、経済学研究科応用経済学専攻、商学研究科商学専攻、総合政策科学研究科総合政策科学専攻

3. 出願受付

- ・ 受付場所：所属研究科により、提出先が異なるため注意してください。

受付場所(事務室)	所属研究科
グローバル・スタディーズ研究科事務室 (今出川校地 志高館)	グローバル・スタディーズ研究科、神学研究科、文学研究科、社会学研究科、法学研究科、経済学研究科、商学研究科、総合政策科学研究科
理工学研究科事務室 (京田辺校地 理化学館)	理工学研究科

募集時期(2018年度)	受付期間
春学期	2018年4月2日(月)～4月11日(水)
秋学期	2018年9月18日(火)～9月27日(木)

※ 郵送での出願は受け付けません。特別な事情により、持参できない場合は受付期間前に、受付事務室に相談し、その指示に従ってください。

※ 受付時間(事務室開室時間)：土日祝日を除く9時～11時30分、12時30分～17時

4. 出願書類

- (1) 〔所定書式(様式1)〕履修候補生 選考 志望理由・研究計画書
 (2) 〔所定書式(様式2)〕履修候補生 選考 指導教員 所見

5. 出願方法 (①～④については講義開始日までに完了することがのぞましい)

- ① 「志望理由・研究計画書」を記入する。
 ② 指導教員にGRMを履修することについて、承認を得る。
 ③ 以下のいずれかのGRM担当教員と面談し、GRMの趣旨、履修方法等を確認し、「志望理由・研究計画書」の下部に面談した旨のサインを得る。

教員所属	GRM担当教員名	メールアドレス
グローバル・スタディーズ研究科	内藤 正典	mnaito@mail.doshisha.ac.jp
	小山田 英治	eoyamada@mail.doshisha.ac.jp
	中西 久枝	hinakanis@mail.doshisha.ac.jp
	峯 陽一	ymine@mail.doshisha.ac.jp
理工学研究科	和田 元	mwada@mail.doshisha.ac.jp
	林田 明	ahay@mail.doshisha.ac.jp
	藤原 耕二	kofujiwa@mail.doshisha.ac.jp
	橋本 雅文	mhashimo@mail.doshisha.ac.jp
	千田 二郎	jsenda@mail.doshisha.ac.jp

※ 電子メールで面談のアポイントをとること。メールには、「履修候補生出願面談の件」であること、所属研究科・専攻、氏名(ふりがな)、連絡先電話番号、メールアドレスを記すこと。
 どの教員でも構わない。

- ④ 以下のいずれかのGRM担当教員に連絡をとり、GRM履修について指導を受ける。
 所属研究科の所定の科目登録期間に、GRM科目についても登録する。

教員所属	校地	GRM担当教員名	メールアドレス
高等教育院	今出川校地	岩坂 将充	miwasaka@mail.doshisha.ac.jp
	京田辺校地	岡本 岳之	taokamot@mail.doshisha.ac.jp

- ⑤ 出願書類を期限までに提出する。

6. 選考結果発表

出願書類を提出した事務室で、結果通知を渡します。

- ※ **注意**：選考に合格しなかった場合、結果発表後の履修中止期間に所属研究科事務室で履修中止手続を行なってください。

募集時期（2018年度）	審査結果発表日
春学期	2018年 4月27日（金）
秋学期	2018年10月 5日（金）

履修候補生としての期間は、以下のとおりです。

所属研究科 入学時期		履修候補生の期間
2017年10月入学生	→	2018年9月まで
2018年 4月入学生	→	2019年3月まで
2018年10月入学生	→	2019年9月まで

7. (履修候補生として認められた学生のみ) 科目登録方法

選考の結果、履修候補生として認められた者は、1セメスターに最低1科目（2単位）のGRM科目(※)を登録・履修をしてください。GRM科目の登録・履修がなければ、プログラムを履修する意思がないものとみなし、履修候補生の資格を取消すことがあります。

- ※ GRM科目とは：GRM科目コードで登録履修することを指します。自身の所属する他研究科の開講科目と合同で行われる科目を履修する場合も、GRM科目コードで登録してください。

(詳細：最新版の「GRM履修要項」を参照してください。)

☆ **注意** 選考結果発表後にGRM科目登録が必要、または、GRM科目の履修中止が必要な学生：以下の手続きを行ってください。

- ※ 履修中止は所属研究科事務室の窓口でご相談ください（WEB利用できない科目があるため）。

- ① 以下のいずれかの教員に連絡をとりGRM履修について指導を受け、「科目登録表（GRM履修候補生用）」に登録希望科目を記入の上、承認サインをもらう。

教員所属	校地	GRM担当教員名	メールアドレス
高等教育院	今出川校地	岩坂 将充	miwasaka@mail.doshisha.ac.jp
	京田辺校地	岡本 岳之	taokamot@mail.doshisha.ac.jp

② 以下の期間に、所属する研究科事務室でGRM科目の登録手続きを行ってください。

選考に合格した募集時期 (2018年度)	GRM科目の登録手続き期間
春 学 期	2018年 5月 8日(火)～ 5月 9日(水)
秋 学 期	2018年10月 9日(火)～10月10日(水)

※ 注意：必ずGRM科目登録前に最新版の「GRM履修要項」を参照の上、登録手続きを行ってください。(「GRM履修要項」入手場所：出願受付場所と同じ研究科事務室)

8. 履修候補生期間の延長

1年次終了時のPEに出願し、不合格となった履修候補生が、GRMプログラムの履修の継続を希望する場合、以下のとおり、「履修候補生 期間継続申請書(様式3)」を提出してください。継続の可否を審査します。

① 受付場所：所属研究科により、提出先が異なるため注意してください。

受付場所(事務室)	所属研究科
グローバル・スタディーズ研究科事務室 (今出川校地 志高館)	グローバル・スタディーズ研究科、 神学研究科、文学研究科、社会学研究科、 法学研究科、経済学研究科、商学研究科、 総合政策科学研究科
理工学研究科事務室 (京田辺校地 理化学館)	理工学研究科

募集時期(2018年度)	受付期間
春 学 期	2018年4月 2日(月)～4月11日(水)
秋 学 期	2018年9月18日(火)～9月27日(木)

※ 受付時間(事務室開室時間)：土日祝日を除く9時～11時30分、12時30分～17時

② 提出書類

〔所定書式(様式3)〕履修候補生 期間継続申請書

③ 審査方法

出願書類及びPreliminary Examination(PE)の評価をもとに審査します。

必要に応じて面接を行う場合があります。

④ 審査結果発表

出願書類を提出した事務室で、結果通知を渡します。

募集時期（2018年度）	審査結果発表日
春学期	2018年 4月27日（金）
秋学期	2018年10月 5日（金）

⑤ その他

「7.（履修候補生として認められた学生のみ）科目登録方法」を参照してください。

【学生窓口】

今出川校地	京田辺校地
グローバル・スタディーズ研究科事務室 (志高館) [TEL] 075-251-3930 [E-mail] ji-gs@mail.doshisha.ac.jp	理工学研究科事務室 (理化学館) [TEL] 0774-65-6200 [E-mail] jt-koujm@mail.doshisha.ac.jp

【問合せ・連絡先】

同志社大学) 高等研究教育課 [博士課程教育リーディングプログラム事務局]

(今出川校地 寧静館 1F)

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

[TEL] 075-251-3259 / [FAX] 075-251-3152

[E-mail] ji-grmld@mail.doshisha.ac.jp

[WEB] <http://grm.doshisha.ac.jp>

